

横須賀市中小企業景況レポート

第 50 号（令和 7 年 4 月号）

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課
〒238-8550 横須賀市小川町 11
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団がさらに追加調査しました。

3 か月に 1 回発行しています。

【市ホームページからもご覧いただけます。】

横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoreport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：150 社（うち、かながわ信用金庫＋湘南信用金庫 調査 132 社）
- ③ 調査期間：前期・・・令和 7 年 0～12 月の景況感（調査時点 令和 6 年 12 月 1 日）
 今期・・・令和 7 年 1～3 月の景況感（調査時点 令和 7 年 3 月 1 日）
 次期・・・令和 7 年 4～6 月の景況感（調査時点 " ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：D I 値算出による（次ページに D I 値の説明あり）

景況及び 4 項目の調査結果（全業種）

* D I 値調査結果は裏面に記載

* 【 】は今期の D I 値を記載

全業種の景況感は、前期から 8 P やや低下し、【△ 5 P】となりました。

今期の景況感は、製造業【△ 5 P】は 18 P 低下しました。また、卸・小売業【△ 14 P】、サービス業【△ 7 P】は、それぞれ 6 P、7 P やや低下しました。建設業【8 P】、不動産業【0 P】は、横這いの状況です。

項目別では、売上額【△ 9 P】、収益【△ 16 P】は、それぞれ 14 P、11 P やや低下しました。

雇用人員【△ 37 P】、資金繰り【△ 9 P】は横這いの状況です。

昨年同期（令和 6 年 1 月～3 月）との景況感比較は、今期構成比【△ 13 P】で、前期構成比【△ 1 P】と比べ、低下しました。

景況感は依然として原材料費高騰による収益の影響や人手不足による受注機会損失の声が聞かれます。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（％）－悪い（少ない）等の構成比（％）を計算した値がDI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

向上 (15 P 以上)	やや向上 (6 P ～ 14 P)	変わらない (△ 5 P ～ 5 P)	やや低下 (△ 6 P ～ △ 14 P)	低下 (△ 15 P 以下)
				

業種別 調査結果と事業者の声

* DI 値調査結果は裏面に記載

（１）製造業 景況感 【 △ 5 P <変わらない> 】（前期比 △ 18 P）

前期と比べ、売上額【△ 17 P】は 20 P 大幅に低下し、収益【△ 17 P】、雇用人員【△ 35 P】、資金繰り【△ 9 P】は、それぞれ 11 P、12 P、10 P やや低下しました。

次期は、資金繰りがさらに低下の見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・大手取引先から値上げ（価格転嫁）を認めてもらえず、製造コスト増加の負担が続いている。
- ・新たな受注を得られるなど受注の引き合いは多いが、人員体制の影響で受けきれないものもあることが課題。
- ・人手不足が深刻で、新卒採用を検討しているものの採用まで至っていない。

（２）建設業 景況感 【 8 P <やや向上> 】（前期比 △ 4 P）

前期と比べ収益【△ 2 P】、資金繰り【△ 12 P】がそれぞれ 8 P、12 P やや低下しました。売上額【8 P】、雇用人員【△ 47 P】は、横這いの状況です。

次期は、雇用人員、資金繰りがやや向上しますが、売上額が低下し、収益もやや低下する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・工事受注は安定しているが、原材料価格高騰の影響で利益率は減少傾向。
- ・受注はあるが人手不足は続いており、材料費の高騰も打撃。人手不足でも人件費を考えると、簡単に増員はできない。

(3) 卸・小売業 景況感 【 △14P <やや低下> 】 (前期比 △6P)

前期と比べ、雇用人員【△26P】は、14Pやや向上しましたが、売上額【△14P】は、16P低下し、収益【△26P】、資金繰り【△19P】は、それぞれ13P、8Pやや低下しました。

次期は、収益がやや向上しますが、資金繰りがやや低下する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・物価高騰から財布の紐は固く、客単価は減少傾向。物価高の影響を感じるせいか購入意欲も昨季と比較しても若干抑え気味になっている。
- ・輸入品の高値が改善されず、仕入が高額なのがネックになっている。また、燃料費の値上がりも厳しい。

(4) 不動産業 景況感 【 0P <変わらない> 】 (前期比 0P)

前期と比べ、売上額【18P】、資金繰り【9P】がそれぞれ9Pやや向上しましたが、収益【9P】、雇用人員【△36P】は、それぞれ9Pやや低下しました。

次期は、売上額、収益、雇用人員がやや向上する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・昨今の物価高の影響を受け材料費が高騰、リフォーム費用等の原価が増加しているが、物件の販売代金に価格転嫁し対処している。市況として、マンション等の売買の動きが鈍化しており、仕入は慎重な姿勢。
- ・市内販売価格は下落しているが、物件数はさほど多くないことから現地販売会を開催する等、顧客開拓に努めている。

(5) サービス業 景況感 【 △7P <やや低下> 】 (前期比 △7P)

前期と比べ、売上額【△22P】、雇用人員【△42P】は、それぞれ28P、20P大幅に低下し、収益【△28P】は16P低下しました。資金繰り【△7P】は横這いの状況です。

次期は、売上額がやや向上し、資金繰りが、やや低下する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・材料費や光熱費、人件費等が高騰している中、思い切った値上げには踏み切れない。少しでも安い業者から材料を仕入れるなど、自社努力をして何とか維持している。
- ・従業員を採用したことにより売上増加が見込まれていたが、すぐに結果は出ない。今後は、研修等も入れていきながら、従業員の技術向上を図っていく。

DI 値 調査結果

前・・・前期 令和6年10月～12月の景況感（調査時点 令和6年12月1日）
今・・・今期 令和7年1月～3月の景況感（調査時点 令和7年3月1日）
次・・・次期 令和7年4月～6月の景況感（調査時点 令和7年3月1日）



業種別調査企業数(回答数)

(単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	153	31	32	47	11	32
今期	150	34	34	43	11	28
次期	150	34	34	43	11	28

(単位：ポイント)

業種 項目		全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
		前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景 況		景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
	良 い(A)	24	22	19	26	21	24	25	26	21	26	16	12	9	18	18	22	29	21
	変わらず	55	51	56	61	53	44	62	56	61	40	54	65	82	64	73	56	35	47
	悪 い(B)	21	27	25	13	26	32	13	18	18	34	30	23	9	18	9	22	36	32
	DI値(A)－(B)	3	△ 5	△ 6	13	△ 5	△ 8	12	8	3	△ 8	△ 14	△ 11	0	0	9	0	△ 7	△ 11
	今－前 / 次－今	△ 8		△ 1	△ 18		△ 3	△ 4		△ 5	△ 6		3	0		9	△ 7		△ 4
売 上 額		製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
	好 転(A)	28	25	21	29	24	24	25	32	15	32	21	21	18	36	36	28	21	21
	変わらず	49	41	48	45	35	32	59	44	61	38	44	49	73	46	55	50	36	47
	悪 化(B)	23	34	31	26	41	44	16	24	24	30	35	30	9	18	9	22	43	32
	DI値(A)－(B)	5	△ 9	△ 10	3	△ 17	△ 20	9	8	△ 9	2	△ 14	△ 9	9	18	27	6	△ 22	△ 11
	今－前 / 次－今	△ 14		△ 1	△ 20		△ 3	△ 1		△ 17	△ 16		5	9		9	△ 28		11
収 益		売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
	増 加(A)	20	17	15	23	18	21	22	24	12	19	14	14	18	18	18	16	11	11
	変わらず	55	50	54	48	47	41	62	50	62	49	46	56	82	73	82	56	50	46
	減 少(B)	25	33	31	29	35	38	16	26	26	32	40	30	0	9	0	28	39	43
	DI値(A)－(B)	△ 5	△ 16	△ 16	△ 6	△ 17	△ 17	6	△ 2	△ 14	△ 13	△ 26	△ 16	18	9	18	△ 12	△ 28	△ 32
	今－前 / 次－今	△ 11		0	△ 11		0	△ 8		△ 12	△ 13		10	△ 9		9	△ 16		△ 4
雇用人員		需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
	多 い(A)	2	1	1	3	0	0	3	0	0	0	2	0	0	0	0	3	4	7
	適 正	63	61	65	71	65	71	47	53	59	60	70	74	73	64	73	72	50	47
	少 ない (B)	35	38	34	26	35	29	50	47	41	40	28	26	27	36	27	25	46	46
	DI値(A)－(B)	△ 33	△ 37	△ 33	△ 23	△ 35	△ 29	△ 47	△ 47	△ 41	△ 40	△ 26	△ 26	△ 27	△ 36	△ 27	△ 22	△ 42	△ 39
	今－前 / 次－今	△ 4		4	△ 12		6	0		6	14		0	△ 9		9	△ 20		3
資金繰り		資金繰りが上手に行っているかを判断するためお聞きました。																	
	余裕がある(A)	14	11	9	23	12	9	16	9	12	17	9	5	0	9	9	3	14	11
	支障がない	68	69	68	61	73	67	68	70	70	55	63	65	100	91	91	84	65	64
	苦しい (B)	18	20	23	16	15	24	16	21	18	28	28	30	0	0	0	13	21	25
	DI値(A)－(B)	△ 4	△ 9	△ 14	7	△ 3	△ 15	0	△ 12	△ 6	△ 11	△ 19	△ 25	0	9	9	△ 10	△ 7	△ 14
	今－前 / 次－今	△ 5		△ 5	△ 10		△ 12	△ 12		6	△ 8		△ 6	9		0	3		△ 7

〈参考〉昨年同期と現在の景況感比較(回答157社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「景況感」は良い(A)	29社	18%	26%
昨年と比べ「景況感」は変わらない、横ばい	80社	51%	47%
昨年と比べ「景況感」は悪い(B)	48社	31%	27%
DI値(A)－(B)		△13P	△1P

